



殺し合うほど仲がいい。

富江 最終章 —禁断の果実—

監督 中原俊

安藤希 宮崎あおい 國村隼

製作*土川勉/松下順一 企画*武内健/加藤秉司 プロデューサー*清水俊/尾西要一郎/東康彦 協力プロデューサー*相原英雄 原作*伊藤潤二(朝日ソノラマ刊) 脚本*藤岡美暢
VFXスーパーバイザー*小田一生 撮影*鈴木一博 照明*上妻敏厚 美術*金田克美 編集*宮島竜治 音楽*TATSUYA 助監督*久保朝洋 製作担当*小松功
主題歌*安藤希「羽根」(日本クラウン) 制作協力*プラネット/ボノボ 製作*大映/アートポート 配給*大映



殺 殺 殺 殺

殺しても殺しても殺しても殺しても殺しても殺しても殺しても殺しても

生き返る美少女…富江。

少女と父親、そして永遠の美少女が織り成す
危うい三角関係

伊藤潤二原作の人気ホラーコミック「富江」の映画化シリーズ第4弾。
永遠に死ぬことのない美少女・富江をめぐる幻想譚。

〈解説〉

1作ごとに富江役が変わっていく本シリーズ。前3作で菅野美穂、宝生舞、酒井美紀が演じた富江役を、本作では『さくや 妖怪伝』等で熱狂的な支持を受け、歌手としても活躍のめざましい安藤希が演じる。富江に取りこまれる少女役には『EUREKA ユリイカ』『害虫』等で国際的な高評価を得、CMやテレビドラマで人気急上昇中の宮崎あおいという、前3作にも増してフレッシュな顔ぶれとなった。また、その二人に翻弄される父親を『萌の朱雀』等の名バイプレーヤー國村隼が演じる。中原監督が作詞した主題歌を主演の安藤希が唄っているのも話題の一つ。監督は『櫻の園』『十二人のやさしい日本人』『コンセント』等の中原俊。少女を美しく撮ることでは定評のある日本映画界の俊英が、好素材を得、久し振りに自分のフィールドで挑む意欲作。

「テーマはロリータとレズビアン」とは監督の弁。画面に切り取られた妖しくも美しい少女たちの秘め事が、新たな「富江」のページを開く!



〈ストーリー〉

二十五年前の若い頃、富江という名の美少女に魅せられたことを忘れられず、娘に登美恵と名付けた橋本和彦(國村隼)。娘・登美恵(宮崎あおい)は殻に閉じこもりがちな、所謂いじめられっ子の高校生だった。そんな登美恵の前に、左目の下にはくろのある美少女が現われる。美少女は「富江」と名乗った。富江(安藤希)の奔放な振る舞いに惹きこまれる登美恵。二人が友達になるのに時間は掛からなかった。ある日、和彦は家に遊びに来た富江とばったり出くわす。それは、二十五年前の富江そのひとだった…。

(カラー/ビスタ/モノラル/91分)

©伊藤潤二/朝日ソノラマ/大映/アートポート 2002



『富江 最終章～禁断の果実～』主題歌

安藤希 サードマキシシングル

「羽根」

CRCP-10028 ¥1,300(税込)

6.21発売



公式ホームページ: <http://www.daiei.tokuma.com/TOMIE/>

8/31(土)より 禁断のレイトショー!!

(9/13まで・日曜休映)

●夜9:00~1回上映(終映22:35予定)

●特製トレーディングカード付き特別前売鑑賞券 絶賛発売中! (トレカ付前売券は劇場窓口のみ)

1回券¥1,300/3回券¥3,900 (当日一般¥1,800 大学生¥1,500のところ)

*トレカは全4種(絵柄の指定はできません。但し3回券と1回券をセットでお求めの方には4種揃いで差し上げます。限定につき品切れの際は何卒ご容赦ください)

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル 梅田